

令和9年度（2027年度） 学生募集要項 《特別選抜》

経済学部

生物資源学部

海洋生物資源学部

看護福祉学部

恐竜学部

地域政策学部

区 分	出 願 期 間	選 抜 期 日
帰 国 生 徒	2026年10月26日(月) ～11月 2日(月)	2026年11月21日(土)
社 会 人		2026年11月21日(土)、 22日(日)
私費外国人留学生		



福井県立大学

Fukui Prefectural University

目 次

入学者受入方針	1
入学者選抜要項	10
I 帰国生徒特別選抜	10
II 社会人特別選抜	18
III 私費外国人留学生特別選抜	25
IV 注意事項	34
V 初年度納付金、その他	39
VI 個人情報の取扱い	41

■添付書類（以下の各書類が綴じ込んであることを確認してください。）

- ・ 志願票
- ・ 写真票、受験票
- ・ 身上調書（または履歴書）
- ・ 電子メールアドレス等届出書 / 誓約書
- ・ 受験票返送用封筒
- ・ 出願用封筒

入 学 者 受 入 方 針

【大学の理念・目的】

福井県立大学は、時代の発展に即応した学術文化の高度化を推進する拠点として、真理探究の精神、広い視野と豊かな創造力、高度で専門的な知識・技術を有する有為な人材を養成するとともに、先進的な科学の研究および技術の開発を行い、学術情報を地域社会へ開放することにより、福井県はもとより、わが国の産業と文化の発展に寄与することを目的とし、もって人類の永続的福祉の向上に貢献することを使命としています。この使命を達成するために、次の三つの基本理念を掲げています。

- ① 新しい時代にふさわしい魅力ある大学
- ② 特色ある教育・研究を行う個性ある大学
- ③ 地域社会と連携した開かれた大学

【教育目標】

- ① 学問への関心を引き出すとともに、全人的教養を身につけ、自立した個人として成長できる能力を養う。
- ② 科学の飛躍的発展に対応できる高度な知識や技術とともに、専門職にふさわしい態度を身につけ、社会のニーズに対応できる能力を養う。
- ③ 少人数教育の特色を活かし、思考力・判断力・表現力・創造力・コミュニケーション力などを併せ持った総合的人間力を身につけ、社会・個人との豊かな関わりを持つことができる能力を養う。
- ④ 国際化、情報化、少子高齢化などの時代の変化を踏まえ、生命と環境、経済・社会、医療福祉の問題など新たな課題に取り組む能力を養う。
- ⑤ 自ら学問を探究する態度を身につけ、個性ある研究が行える能力を養う。
- ⑥ 地域社会との連携を深め、地域住民と協働した社会づくりに貢献できる態度を養う。

経済学部

【理念・目的】

経済学部は、多様化し変動著しい現代の経済社会やそこにおける企業経営の在り方および法則、地域経済・企業や各国経済の特質等を明らかにし、あるべき経済政策および経営を追求する研究を推し進めるとともに、その成果にもとづき、経済・経営に関する専門的な知識を有し、情報活用能力・論理的判断力・国際的感覚を持った人材を養成すること、さらに研究成果そのものを地域社会のみならず広く社会へ開放することを目的とします。

特に教育については次のことに心がけて行います。

- ① 研究に基づいて教育の水準を高く維持すること。
- ② 教員自身が研究に打ち込む姿を学生に見せるとともに、その成果を学生に伝えるように努めること。
- ③ 学生の知識水準に注意を払い、学生が吸収しやすいよう教授法についても研究を重ねること。
- ④ 多様な学生の需要に応じるため、教員集団の多様性を保ち、学生に自発的な選択の余地を与えるとともに、個々の教員も多様な見方があることを示すよう努めること。

【教育目標】

経済学部は、学生たちに向けて次のような教育目標を掲げます。

- ① 経済の運動や企業の行動についての古今の学説を知り、社会科学についての教養を深め、経済社会の仕組みを知る。
- ② 現実の経済・経営を分析する能力を持ち、政策について判断する力を身につける。
- ③ 自らの頭で考え、自らの進路を切り開くことができる自立した個人に成長する。

【アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）】

経済学部は、次のいずれかに該当する学力のある学生を求めます。

- ① 高等学校で英語、国語、数学、理科、地理歴史・公民に関して十分な基礎学力を身につけた学生
- ② 社会の仕組みや運動、企業の行動について興味を持ち、それらを知ることに意欲的である学生
- ③ 経済学・経営学を学ぶことで、自分で考え自分で判断する力を身につけたいと考えている学生
- ④ 経済学・経営学について専門的知識を身につけ、それを将来就く職業に生かしたいと考えている学生

生物資源学部

【理念・目的】

生物資源学部は、生物資源にかかわる諸領域において以下の教育研究活動を推進することにより、地域社会、日本、世界の産業と文化の発展に寄与し、もって人類の将来にわたる福祉の向上に貢献します。

この使命を達成するために、次の三つの基本理念を掲げます。

- ① 時代の進展に即応した学術文化の高度化の推進と、それに寄与できる人材の育成。特に、社会の多様な場で困難を解決し真の発展を図れる人材、持続可能な社会の構築において最新の専門知識と先端技術を用い適切な対処ができる人材を育てます。
- ② 自主的な真理探究の精神、広い視野および豊かな創造力を有し、基礎的および専門的な知識と技術、そして多様性に関する寛容さを備えた実践力ある人材の育成
- ③ 学術情報の地域社会への開放

【教育目標】

責任ある社会人として必要な教養と倫理観を身につけるとともに、価値観のゆらぐ現代社会において、変化するものとしめないものを見極めて現象の本質に科学的に迫り、生物資源にかかわる諸問題、特に持続可能な社会の構築に関して、最新の専門知識と先端技術を用い適切な対処ができる能力を養います。

生物資源学科

地域社会はもとより世界の人々の将来にわたる幸せのため、グリーン・デジタルなどの新興分野を含む社会の多様な場で困難を解決しその真の発展を図れる、意欲・能力・創造性そして寛容さを備えた人材を育成します。そのため、次の教育目標を定めます。

- ① 科学・技術が自然や社会に与える影響を多面的に考え、生物資源の利用に当たって、責任ある方向付けに必要な基礎的素養を身につけます。
- ② 生命科学の幅広い理解と応用のための基礎として、情報科学、自然科学の知識を身につけます。
- ③ 生物資源の資源採取・加工・利用や環境保全等のグリーンテクノロジーに関する専門知識ならびにそれを応用する上で必要な知識を身につけます。
- ④ 急速に発展するデジタル技術を用いて必要な情報を収集・解析し、問題を発見や解決し、自らの考えを論理的に形成できる能力を身につけます。
- ⑤ 自然環境や社会の持続可能性に配慮するなど限られた条件の下で、生物化学にかかわる技術的な課題を設定・解決する能力を身につけます。また、課題解決に向けたグループワークのための対話能力と文章作成能力を身につけます。

創造農学科

「食と農と環境」に関連する広範囲な分野で中心的に活躍するための知識と技術と経験を備えた人材を育成します。そのため、次の教育目標を定めます。

- ① 食用作物、園芸作物、飼料作物、家畜など、多様な農林畜産物に関する農学的知識を身につけ、農業生産に関する広範囲な実践的素養を体得します。
- ② 農林畜産物の生産・利用法・加工・商品開発やマーケティング等の分野における最先端の技術を学び、次世代展開を図るために必要な知識と技術を身につけます。

- ③ 食と農と人（文化、芸術、福祉）を取り巻く環境について、地域や日本、世界の状況を知り、特に地域においては、その保全や修復の実践を通して学び、持続可能な環境や地域社会の構築に向けて行動するために必要な知識と技術を身につけます。
- ④ 必要な情報収集能力を身につけるとともに、自らの考えを論理的に表現し議論するための対話能力と文章作成能力を身につけます。
- ⑤ 技術的な課題を自ら見出し、安全や環境に配慮するなど、限られた条件の下で設計・解決する能力を身につけます。また、課題解決に向けて、互いに協力して仕事をする能力を身につけます。

【アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）】

生物資源学部 of 教育目標に従い、求める学生像や、大学入学までに身につけておくべき教科と科目に関して、次のように定めます。

生物資源学科

求める学生像：微生物から高等動植物まで多様な生物に興味と関心を持ち、分子から生物、さらに生態系にまで及ぶ広範な対象を取り扱う科学分野の勉強に強い探究心を持って取り組むことができる学生を求めます。生物資源にかかわる知識と技術を携え、自分の考えをまわりのひとに的確に伝えることができ、将来にわたって主体的に活動する意欲と希望を持った学生が望まれます。

必要な知識・技能：生物資源学を大学で学ぶためには、高等学校等において、国語、英語、数学、生物、化学、物理、情報の基礎学力の習得が必要です。

創造農学科

「食と農と環境」に興味と関心を持つとともに、これに関連する様々な体験をしたいという意志があり、将来、農業、食品業などの関連する分野で活躍し、地域資源の最大活用、脱炭素化、労力軽減・生産性向上などのイノベーション推進に貢献しようという意欲と希望を持つ学生を求めます。

創造農学科で学ぶためには、高等学校等における幅広い基礎学力が必要です。さらに、自分の考えを自分の言葉で表現でき、他者と適切にコミュニケーションがとれるよう努力することが重要です。

海洋生物資源学部

【理念・目的】

海洋生物資源学部は、海洋生物資源にかかわる諸領域での教育・研究活動を通じて、時代の進展に即応した学術文化の高度化の推進、自主的な真理探究の精神と広い視野および豊かな創造力を有し専門的な知識と技術を備えた実践力ある人材の育成、および地域社会への学術情報開放の推進を目的としています。これにより、地域社会、日本および環日本海地域はもとより、世界の産業と文化の発展に寄与し、もって人類の将来にわたる福祉の向上に貢献することを目指しています。

【教育目標】

教育目的を達成するために身につけるべき具体的能力を、教育目標として次に掲げます。

海洋生物資源学科

- ① 海洋生物資源にかかわる技術者として、幅広い視野を持ち、科学・技術が社会や自然に及ぼす影響、効果および倫理的責任を理解して行動する。
- ② 海洋生物資源学の基礎となる数学、自然科学、および外国語で議論するために必要な基礎的語学力を継続的に学修し、論理的に思考する。
- ③ 海洋環境の保全および海洋生物資源の育成と利用にかかわる基礎的・専門的知識を身につけ、海洋生物資源の持続的利用に関する問題の解決に応用する。
- ④ 海洋生物資源の持続的利用に関する課題を解決するために、計画を作成して実践し、その成果を論理的に取りまとめて検証し、口頭で発表するとともに、積極的に議論する。
- ⑤ 他者と協働して海洋生物資源にかかわる問題を解決するために、自己のなすべき行動と他者のとるべき行動を的確に判断し、相互に意思疎通を図りながら行動する。

先端増養殖科学科

- ① 水産増養殖にかかわる技術者として、科学・技術が社会や自然に及ぼす影響、効果、および倫理的責任を理解して行動する。
- ② 魚介類や藻類などの生産・育成の分野における基礎から最先端に至る知識と技術を学び、それらを実践的に応用する。
- ③ 地域産業の発展と国際化のための戦略、経営管理手法、および国際的な社会貢献に関する知識と技術を身につけ、海洋関連産業（養殖・商品開発・流通販売など）の起業やマネジメントなどの実践的な行動に発展させる。
- ④ 社会的背景を理解して水産増養殖にかかわる課題を設定し、解決のための計画を立案して実践する。
- ⑤ 課題解決に向けて、他者と相互に意思疎通を図りながら行動し、成果をまとめて文章および口頭で論理的にわかりやすく発表する。

【アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）】

教育目的を達成するため、海洋生物資源学部は次のような学生の入学を求めています。

- ① 海洋環境や海洋生物資源を取り巻く様々な問題に強い関心を持ち、科学・技術を通してその解決に貢献する意欲を有する学生
- ② 海洋生物資源学を学ぶために必要となる理科、数学および英語などの基礎学力を有し、自主的な学習習慣を身につけている学生
- ③ 他者と協力しながら学ぶためのコミュニケーション能力を身につけている学生

看護福祉学部

【理念・目的】

看護福祉学部では、人権尊重と擁護を根幹とするヒューマンケアの理念に基づき、専門的知識・技術の開発にかかわる研究を推進します。さらに、社会情勢の変化に伴う課題への実践的な取り組みを通して、人々の健康的な生活の創造に寄与します。教育においては、個性豊かで創造的な人間性を育むとともに、看護および社会福祉の専門的知識と技術および倫理観に裏付けられた実践力を持って、人々の健康と福祉の向上に貢献できる人材を育成します。さらに社会およびその時々個人のニーズに応じた高度なサービスを普遍的に提供するために、専門職として自己研鑽を積むことができる人材を養成します。

【教育目標】

看護福祉学部の教育目標は、次のとおりです。

看護学科

- ① 生命の尊厳、人権擁護の立場から人々の健康生活を支援できる能力を育成する。
- ② 人々を全人的に理解するための豊かな感性を育成する。
- ③ 科学に裏付けられた専門的知識と技術を用いて、人々の個別性に応じた看護を主体的に創造できる能力を育成する。
- ④ 保健、医療、福祉との連携・協働を図り、個人および社会のニーズに応じた看護を実践できる能力を育成する。
- ⑤ 自ら探求する態度を身につけ、将来にわたり専門職として看護を発展させていくための研究、教育および管理能力の基礎を育成する。

社会福祉学科

- ① 普遍的な社会福祉の価値観、思想および倫理を重んじ、人間の尊厳重視、人権擁護および社会正義の立場から人々の生活を支援できる人材を育成する。
- ② 人々の生活やその困難を環境との関連から理解し、人々に共感することのできる幅広い知識と豊かな感受性を育む。
- ③ 科学に裏付けられた知識、方法および専門技術を用い、人々の個別のニーズに応じた社会福祉サービスの創造と適用ができる能力を育成する。
- ④ 学際的な多職種連携による実践を通して、個人、家族および社会のニーズに応えられる能力ならびに国際的視野を涵養する。
- ⑤ 講義・演習・実習という三つのプログラムにおいて、専門職を目指して社会福祉を主体的に学び、探究していく姿勢と態度の修得を促す。

【アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）】

看護学・社会福祉学は人々の健康と生活に直接かわる学問です。看護福祉学部では、社会の動向や人間に関心を持てる人、他者の考えや独自性を尊重できる人、経験を通して自分自身を振り返ることのできる人、さらに主体的に学修に取り組む熱意のある人の入学を求めます。高等学校においては、人々とのコミュニケーションに必要な国語や英語の基礎学力を高めること、さらに、社会、地域、人々の生活および人の身体やこころの仕組みを理解できるような科目を意識的に学修することを望んでいます。

看護学科

【看護学科の求める学生像】

看護学科では主体的に学修に取り組む熱意のある人の入学を求める（主体性）。

- ① 専門的知識と技術を学ぶための基礎学力を身につけている（知識、理解力）。
- ② 社会の動向や人間に関心をもち、人々の保健・医療・福祉の発展に貢献したいという目的意識をもっている（関心、目的意識）。
- ③ 人としての基本的な倫理観を備え、他者の価値観・個性・多様性を尊重することができる（倫理観、協調性、判断力）。
- ④ 自分自身の行為・態度を振り返り自己を向上させることができる（思考力、表現力）。

【看護学科の入学前に学習しておくことが期待される内容】

高等学校段階までの国語、数学、英語 3 科目について基礎学力が幅広く十分身につけていることが必要です。そのうえで生物や倫理などの人を理解できるような科目を意識的に学修することを期待します。

社会福祉学科

【社会福祉学科の求める学生像】

社会福祉学科では主体的に学修に取り組む熱意のある人の入学を求める（主体性）。

- ① 社会福祉の理論や実践について学ぶための基礎学力を身につけている（知識、理解力）。
- ② 社会の動向や人間に関心をもち、多様な人々が豊かに生活できる社会の実現に貢献したいという目的意識をもっている（関心、目的意識）。
- ③ 人としての基本的な倫理観を備え、他者の価値観・個性・多様性を尊重することができる（倫理観、協調性、判断力）。
- ④ 自分自身の行為・態度を振り返り自己を向上させることができる（思考力、表現力）。

【社会福祉学科の入学前に学習しておくことが期待される内容】

高等学校段階までの国語、英語 2 科目の基礎学力が幅広く十分に身につけていることが必要である。そのうえで、地域社会における人々の生活を理解できるような科目を意識的に学修することを期待する。

恐竜学部

【理念・目的】

恐竜学部は、福井県で蓄積された恐竜研究をさらに発展させ、地質学を含めた地球科学分野の教育・研究活動を通じ、現代社会の地球科学諸問題に対応するため、幅広い教養と地球科学に関する知識・技術を持ち、多様な局面において協働的および自主的に課題を探究・解決できる人材を育成するとともに、学術情報を地域社会へ積極的に開放することを目的とします。

【教育目標】

恐竜学部では、教育目的を達成するために身に付けるべき能力を教育目標として、次のように定めます。

- ① 自然科学への幅広い関心を持ち、文理横断的な幅広い教養や視野を体得する。
- ② 地球科学分野の中でも特に古生物学や地質学、古環境学、デジタル科学等の専門知識と、現場や実践を重視した調査研究方法を修得し、社会のニーズや動向に応用できる能力を身につける。
- ③ 少人数教育の特色を活かしたプレゼンテーションやディスカッション、フィールドワークを通して、思考力や表現力、コミュニケーション力等を併せ持ち、他者と協働することができる能力を身につける。
- ④ 国際化、情報化が進む現代社会に対応し、国際的な視野を持ち、デジタル技術を駆使しながら、地球科学諸問題の解決に取り組める能力を身につける。

【アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）】

教育目的を達成するため、恐竜学部は次のような学生の入学を求めています。

- ① 自然科学に興味を持ち、これに関する研究分野におけるフィールド活動に関心・意欲がある。
- ② 多様な自然界の現象に対して科学的探究心を持ち、課題解決に向けて自分の意見を表現できる。
- ③ 自然科学を学ぶ上での理科・数学および国際化・情報化社会に対応するための外国語・情報科学の基礎を身につけている。
- ④ 積極的かつ自主的な学習姿勢を持ち、他者との協働作業などを意欲的に取り組むことができる。

地域政策学部

【理念・目的】

地域政策学部は、経済・経営の基礎理論や産業立地や地域経済に関する専門的知識の理解を促すとともに、そうした知識の地域現場での適応力の育成に努めることにより、地域産業の高度化やグローバル化、新たな産業や企業の創出、持続可能な地域社会の構築に貢献し、地域独自のイノベーションをもたらす主体性と実行力を身につけたリーダー的人材を養成することを目的とする。

【教育目標】

本学部では、教育目的を達成するために身に付けるべき能力を教育目標として、次のように定めます。

- ① 経済や経営の基礎理論とともに、産業立地や地域経済に関する専門的知識を身につけ、日本や世界の諸地域の事情を知り、地域イノベーションを惹起する上で必要となる豊富な知識を習得させる。
- ② 地域データ分析における最先端の技術を学び、フィールドワークを通じて現実の地域社会を分析する能力を鍛え、自らの考えを論理的に表現し議論するための対話能力と文章作成能力を身につけさせる。
- ③ 地域の課題を自ら見出し、課題解決に向けて、互いに協力して政策を立案し、その実現をめざして、地域の自治体や企業、住民と協働する能力を身につけさせる。

【アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）】

教育目的を達成するため、本学部は次のような学生の入学を求めています。

- ① 高等学校で英語、国語の基礎学力に加え、数学・理科・地理歴史・公民・情報等の幅広い基礎学力を身につけている学生
- ② 自分の考えを自分の言葉で表現できる学生
- ③ 地域の課題解決に興味や関心を持つ学生
- ④ 多種多様な人々と適切なコミュニケーションを図りながら、主体性を持って学修に取り組むことができる学生

入学者選抜要項

本学では、入学者選抜の多様化の一環として、外国において教育課程を履修した者や社会人としての経験を経てさらに学びたいという意欲を持つ者など、学習意欲を持つ者に広く大学の門戸を開放するため、一般選抜とは別に次のとおり特別選抜を実施します。

I 帰国生徒特別選抜

1 募 集 人 員

学 部	学 科	入学定員	左のうち帰国生徒特別選抜の募集人員
経 済 学 部	経 済 学 科	80名	各学科 若干名
	経 営 学 科	80名	
生 物 資 源 学 部	生 物 資 源 学 科	50名	
	創 造 農 学 科	30名	
海洋生物資源学部	海洋生物資源学科	50名	
	先端増養殖科学科	30名	
看護福祉学部	看 護 学 科	50名	
	社 会 福 祉 学 科	30名	
恐 竜 学 部	恐 竜・地 質 学 科	30名	
地 域 政 策 学 部	地域イノベーション学科	70名	
計		500名	

2 出 願 資 格

日本国籍を有する者、日本国の永住許可を得ている者、その他これらに準ずる者であって、保護者の海外勤務等の事情により外国の学校教育を受けているもののうち、次の（１）および（２）のいずれにも該当するもの

- （１）以下の各号のいずれかに該当する者
- ① 外国の教育制度に基づく教育機関において、最終学年を含め２学年以上継続して学校教育を受け、１２年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含みます。）を２０２５年４月１日から２０２７年３月３１日までに卒業（修了）した者または卒業（修了）見込みの者
 - ② 外国の教育制度に基づく教育機関において、２年以上継続して学校教育を受け、１２年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含みます。）を中途退学し、引き続き日本の高等学校の第３学年もしくは中等教育学校の第６学年に編入学を認められた者で、２０２７年３月卒業見込みのもの
 - ③ スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格を２０２５年または２０２６年に授与された者
 - ④ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を２０２５年または２０２６年に授与された者
 - ⑤ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を２０２５年または２０２６年に授与された者
- （注） １ ①および②において、外国に設置された教育機関であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間は、外国において学校教育を受けたものとはみなしません。
- ２ 大学入学共通テストを受ける必要はありません。

- (2) 下表に定める英語の資格・検定試験のいずれかを2024年12月以降に受験し、公式な成績証明書を提出できる者

学 部	学 科	受験を出願資格とする英語の資格・検定試験
経 済 学 部	経 済 学 科	・TOEFL (PBT、iBT) ・TOEIC (Listening & Reading Test) ・IELTS (アカデミック・モジュール) ・英検
	経 営 学 科	
生 物 資 源 学 部	生 物 資 源 学 科	・TOEFL (PBT、iBT) ・TOEIC (Listening & Reading Test) ・IELTS (アカデミック・モジュール) ・英検
	創 造 農 学 科	
海洋生物資源学部	海洋生物資源学科	※ TOEFL ITP (団体受験) テスト、TOEIC IP (団体受験) テスト、TOEIC SW テスト、TOEIC Speakingテスト、TOEIC Bridgeテスト、IELTS (団体受験)、IELTS (ジェネラル・トレーニング・モジュール)、英検 Jr.、英検 IBA のスコアは認められません。
	先端増養殖科学科	
看護福祉学部	看 護 学 科	
	社 会 福 祉 学 科	
恐 竜 学 部	恐 竜 ・ 地 質 学 科	
地 域 政 策 学 部	地域イノベーション学科	

3 選 抜 方 法

入学者の選抜は、小論文および面接の成績ならびに出願書類の内容を総合して行います。

(1) 選抜期日・時間割

選 抜 期 日	時 間 割		
	9:20～9:50	9:50～11:20	12:30～18:00
2026年11月21日(土)	受 験 上 の 注意事項説明	小 論 文	面 接

(2) 選抜の内容等

区 分	内 容	時 間
小 論 文	日本語による800字程度の小論文	90分
面 接	複数の面接員による面接 ※面接では、各学部で要求される基礎学力を問う質問を行うことがあります。	—

(3) 試験会場

福井県立大学 永平寺キャンパス 福井県永平寺町松岡兼定島4-1-1

4 配 点

(1) 経済学部

小 論 文	出願書類 [※]	面 接	合 計
100	100	100	300

[※] 出願資格として求める英語の資格・検定試験の評価を含みます。

(2) 生物資源学部

小 論 文	出願書類 [※]	面 接	合 計
100	100	100	300

[※] 出願資格として求める英語の資格・検定試験の評価を含みます。

(3) 海洋生物資源学部

小 論 文	出願書類 [※]	面 接	合 計
50	100	50	200

[※] 出願資格として求める英語の資格・検定試験の評価を含みます。

(4) 看護福祉学部

小 論 文	面接（出願書類を含む。） [※]	合 計
100	150	250

[※] 出願資格として求める英語の資格・検定試験の評価を含みます。

(5) 恐竜学部

小 論 文	出願書類 [※]	面 接	合 計
100	100	100	300

[※] 出願資格として求める英語の資格・検定試験の評価を含みます。

(6) 地域政策学部

小 論 文	出願書類 [※]	面 接	合 計
100	100	100	300

[※] 出願資格として求める英語の資格・検定試験の評価を含みます。

5 出 願 手 続

(1) 出願期間 2026年10月26日（月）～11月2日（月）（当日消印有効）

(2) 出願方法

出願は、書留速達扱いの郵送または直接持参によってください。直接持参の受付時間は、平日の午前9時から午後5時までとします。土曜日、日曜日および祝日は受け付けません。

(3) 出 願 先 福井県立大学入学試験本部（入試企画室）

〒910-1195 福井県永平寺町松岡兼定島4-1-1

(4) 出願書類

「2 出願資格」の(1)の①～⑤の各号の区分に従い、下表の該当する区分に○印が付されている書類を提出してください。

(注) 外国語で書かれた書類については、大使館・出身学校・公的機関等で翻訳証明を受けた日本語訳を添付してください。また、翻訳元となった書類の原本を提出してください。原本が提出できない場合は、大使館・出身学校・公的機関等で原本証明されたものを提出してください。

① の該当者	② の該当者	③ の該当者	④ の該当者	⑤ の該当者	出願に必要な書類	作成方法
○	○	○	○	○	志 願 票	所定の様式に、必要事項をもれなく自筆で記入してください。「写真貼付欄」には、縦4cm×横3cmの写真（正面上半身無帽、背景なし、出願前3ヵ月以内に単身で撮影したもの）の裏面に第1志望学科、氏名を記入し、はがれないように全面をのり付けしてください。
○	○	○	○	○	写 真 票	所定の様式に、必要事項をもれなく自筆で記入してください。「写真貼付欄」には、志願票と同じ写真をはがれないように全面をのり付けしてください。
○	○	○	○	○	受 験 票	所定の様式に、必要事項をもれなく自筆で記入してください。
○	○	○	○	○	入 学 検 定 料	振込期間内に指定する振込先へ振り込んでください。 【入学検定料】 17,000円 【振込期間】 2026年10月19日（月）～11月2日（月） 【振込先】 銀 行 名：福井銀行 支 店 名：福井医大支店 預金種目：普通預金 口座番号：1141718 受 取 人：公立大学法人福井県立大学 コウリツダイガクホウジンフクイケンリツダイガク 【注意】 ※振込依頼人の名前は、必ず志願者本人の名前にしてください。 ※<u>振込手数料は振込者の負担になります。</u> ※出願書類が期限内に到着しても、入学検定料の振込が確認できるまでは受付となりません。余裕をもってお振込みください。 ※振込受付証明書や振込明細書、振込完了画面データ等、「依頼人名」「日付」「振込金額」「振込先」が確認できる書類を保管してください。 ※入学検定料を日本国外から送金する場合は、入金の確認に日数がかかります。出願前に入学試験本部（入試企画室）までご連絡ください。 【返還請求について】 納入済みの入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。 ①検定料を振り込んだが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかったまたは出願が受理されなかった）場合 ②検定料を誤って二重に振り込んだ場合

					入 学 検 定 料 (つ づ き)	《返還請求の方法》 「検定料振込受付証明書等」を添付の上、検定料返還請求書を下記住所まで郵送してください。期限・請求書様式など詳細は本学ホームページ(https://www.fpu.ac.jp)をご覧ください。 福井県立大学 財務課 〒910-1195 福井県永平寺町松岡兼定島4-1-1 TEL 0776-61-6000
○	○	○	○	○	調 査 書	日本の高等学校に在籍したことがある場合または在学中の場合のみ、出身高等学校長が文部科学省所定の様式により作成し、厳封したものを提出してください。日本の高等学校に在籍したことがない場合は、提出不要です。 ※記録保存期間を過ぎている場合および廃校・被災その他の理由で、調査書が発行されない場合は、成績証明書等の成績を証明する書類、もしくは成績証明書発行不能証明書等、成績を証明できない旨の証明書を提出してください。
○	—	—	—	—	卒業(修了)証明書 または卒業(修了) 見 込 証 明 書	高等学校の卒業(修了)証書の写しまたは出身高等学校長が作成した卒業(修了)見込証明書
○	○	—	—	—	成 績 証 明 書	外国において在学した高等学校の長が作成した在学期間すべての成績証明書
—	—	○	—	—	国際バカロレア 資 格 証 書	国際バカロレア資格証書の写し
—	—	○	—	—	成績評価証明書	国際バカロレア資格試験6科目の成績評価証明書
—	—	—	○	—	一般的大学入学 資 格 証 明 書	アビトゥア資格取得者に授与される一般的大学入学資格証明書の写し
—	—	—	—	○	バカロレア資格 証	バカロレア資格証書の写し
—	—	—	—	○	バカロレア資格 試験成績証明書	バカロレア資格試験成績証明書
○	○	○	○	○	身 上 調 書	所定の様式に、自筆で記入してください。
○	○	○	○	○	海外に在留したこ とを証する書類	保護者とともに海外に在留したことを証明する書類(保護者の所属長が証明した海外勤務証明書等)
○	○	○	○	○	英語の資格・検定 試験に関する公式 な成績証明書	※2024年12月以降に受験した以下のいずれかの英語の資格・検定試験に関する公式な成績証明書を提出してください。 TOEFL は、「Official(Institutional) Score Report」を Educational Testing Service から選抜期日までに本学へ届くように、送付の手配を出願期間までにしてください。ETSでの手続完了後に本学でもオンライン上でスコアの情報を確認することができます。本学の DI-Code は「B759」、Department Code は「00」(Undergraduate) です。 それとともに、ETS から受験者あてに送付された「Test Taker Score Report」のコピー、または「My Home Page」でのスコア確認を印刷したものに、Official(Institutional) Score Report の送付を依頼した日付を記して、提出してください。

					英語の資格・検定試験に関する公式成績証明書 (つ づ き)	TOEIC は、実施機関から受験者に送付された「Official Score Certificate / Report」(公式認定証：受験者の氏名・生年月日・顔写真が明示されているもの)を提出してください。原本を提出し、コピーは不可。必要に応じて実施機関に証明書の追加発行を依頼してください。 IELTS は、「成績証明書 (Test Report Form)」を実施機関 (日本国内では日本英語検定協会) から選抜期日までに本学へ届くように、送付の手配を出願期間までにしてください。 それとともに、実施機関から受験者あてに送付された「成績証明書 (Test Report Form)」のコピー、または「オンライン試験結果表示サービス」を印刷したものに、Test Report Form の送付を依頼した日付を記して、提出してください。 英検は、日本英語検定協会から受験者に送付された「合格証明書」(和文でも英文でも可。1 通だけ切り離し、「合格証書」や「Certification Card」は同封しない)を提出してください。原本を提出し、コピーは不可。必要に応じて実施機関に証明書の追加発行を依頼してください。
○	○	○	○	○	受験票返送用封筒	所定の封筒に、受験票返送先の住所、氏名、郵便番号を明記し、410円分の切手を貼ってください。
○	○	○	○	○	出 願 用 封 筒	所定の封筒に、「出願区分」欄、「差出人」欄を必ず記入し、郵送の場合には必ず書留速達扱いにしてください。

(5) 第2志望の選択

経済学部においては、出願の際に、第1志望の学科のほか、他の学科を第2志望の学科とすることができます。この場合には、選抜の結果、第2志望の学科の合格者となることがありますので、十分考慮の上、志望する学科を決めてください。

経済学部以外の学部においては、第1志望のみとします。

(6) 障害を有する入学志願者等との事前相談

障害を有する等、受験上および修学上の配慮を必要とする可能性のある入学志願者は、出願の前にあらかじめ福井県立大学入学試験本部(入試企画室)まで連絡し、相談してください。

相談の内容によっては、本学の試験までに対応できず、十分な配慮による受験ができない場合もありますので、なるべく早く相談してください。

- ① 相談の時期 2026年10月16日(金)(当日消印有効)
- ② 相談の方法 相談書(様式は自由で、健康診断書等必要書類を添付したもの)を提出してください。必要な場合は、本学において志願者またはその立場を代弁できる関係者等との面談を行います。
- ③ 連絡先 福井県立大学入学試験本部(入試企画室)
〒910-1195 福井県永平寺町松岡兼定島4-1-1
TEL 0776-68-8297
FAX 0776-61-6012

6 合 格 発 表

(1) 発表期日 2026年12月1日(火) 午前10時

(2) 発表方法

合格者に合格通知書を送付します。

また、合格者の受験番号を本学のホームページに掲載します。ホームページのアドレスは <https://www.fpu.ac.jp> です。ただし、これは参考情報ですので、可否の確認は合格者に送付する合格通知書で行ってください。

なお、電話等による問い合わせには応じません。

(3) 合格しなかった者の一般選抜試験の受験について

選抜の結果、合格しなかった者は、「令和9年度学生募集要項《一般選抜》」に定められた出願手続をとって、前期日程(2027年2月25日実施)および後期日程(同年3月12日実施)の一般選抜試験(教科・科目に係る個別テスト等)を受験することができます。

ただし、本学の指定する大学入学共通テストの教科・科目を受験する必要があります。

7 成 績 の 開 示

本学の受験者本人に限って、個人成績を開示します。

希望者は、次により申し込んでください。

(1) 2027年度入学試験成績開示の申込期間

2027年4月23日(金)～2027年5月24日(月)まで

(2) 申 込 者 受験者本人に限ります(代理人は不可)。

(3) 申 込 先 福井県立大学入学試験本部(入試企画室)

(4) 申込方法

【窓口での申込】

・本学受験票を持参の上、所定の「入学試験成績開示申込書」により申し込んでください。

【郵便での申込】

・次の1～3を同封して申込期間内に到着するよう郵送してください。

・申込後1月程度にて受験者本人あて書留郵便で送付(受験票も返却)します。

1 所定の「入学試験成績開示申込書」

2 受験票(本人確認のため使用・コピー不可)

3 返信用封筒

※返信用封筒の大きさ:長型3号

※郵便番号、住所、あて名を記載し、簡易書留相当の金額の切手を貼り付けてください。

(5) 開示の内容

個人成績 小論文・面接等ごとの点数および総合点

(6) 開示方法

・閲覧または郵送により開示します。

・郵送による開示は、受験者本人あて書留郵便で送付(受験票も同封し返却)します。

(7) 問い合わせ先・郵送先

福井県立大学入学試験本部(入試企画室)

福井県永平寺町松岡兼定島4-1-1

TEL 0776-68-8297

8 入 学 手 続

- (1) 入学手続期間 2026年12月2日(水)～12月9日(水)(当日消印有効)
- (2) 入学手続方法
 - ① 入学手続に必要な書類は、合格発表後に通知します。
 - ② 書類提出は、**書留速達扱いの郵送**または**直接持参**によってください。直接持参の受付時間は、平日の午前9時から午後5時までとします。土曜日、日曜日および祝日は受け付けません。
 - ③ 入学手続を完了した方には、入学許可証を郵送します。
- (3) 入学手続先 福井県立大学入試企画室
 〒910-1195 福井県永平寺町松岡兼定島4-1-1
 電話 0776-68-8297

9 注 意 事 項

本要項34ページ「Ⅳ 注意事項」をご覧ください。

10 初年度納付金、その他

本要項39ページ「Ⅴ 初年度納付金、その他」をご覧ください。

Ⅱ 社会人特別選抜

1 募集人員

学 部	学 科	入学定員	左 の う ち 社 会 人 特別選抜の募集人員
経 済 学 部	経 済 学 科	80名	各学科 若干名
	経 営 学 科	80名	
生 物 資 源 学 部	生 物 資 源 学 科	50名	
	創 造 農 学 科	30名	
海洋生物資源学部	海洋生物資源学科	50名	
	先端増養殖科学科	30名	
看護福祉学部	看 護 学 科	50名	
	社 会 福 祉 学 科	30名	
恐 竜 学 部	恐 竜 ・ 地 質 学 科	30名	
地 域 政 策 学 部	地域イノベーション学科	70名	
計		500名	

2 出 願 資 格

次の（１）および（２）のいずれにも該当する者

（１）２０２７年４月１日現在において満２３歳に達しており、社会人の経歴を３年以上有する者で、以下の各号のいずれかに該当するもの。この場合、定時制、夜間、通信制以外の学校の在学期間は社会人の経歴の期間に含めません。

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者
- ② 通常の課程による１２年の学校教育を修了した者
- ③ 学校教育法施行規則第１５０条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

（注） １ 大学入学共通テストを受ける必要はありません。

２ ③において、学校教育法施行規則第１５０条第７号の規定により「個別の入学資格審査」を受けて出願する者は、事前に資格審査を受けなければなりません。詳細については、入学試験本部（入試企画室）までお問い合わせください。

（２）下表に定める英語の資格・検定試験のいずれかを２０２４年１２月以降に受験し、公式な成績証明書を提出できる者

学 部	学 科	受験を出願資格とする英語の資格・検定試験
経 済 学 部	経 済 学 科	・ TOEFL (PBT、iBT) ・ TOEIC (Listening & Reading Test) ・ IELTS (アカデミック・モジュール) ・ 英検
	経 営 学 科	
生 物 資 源 学 部	生 物 資 源 学 科	・ TOEFL (PBT、iBT) ・ TOEIC (Listening & Reading Test) ・ IELTS (アカデミック・モジュール) ・ 英検
	創 造 農 学 科	
海洋生物資源学部	海洋生物資源学科	※ TOEFL ITP (団体受験) テスト、TOEIC IP (団体受験) テスト、TOEIC SW テスト、TOEIC Speakingテスト、TOEIC Bridgeテスト、IELTS (団体受験)、IELTS (ジェネラル・トレーニング・モジュール)、英検 Jr.、英検 IBA のスコアは認められません。
	先端増養殖科学科	
看護福祉学部	看 護 学 科	
	社 会 福 祉 学 科	
恐 竜 学 部	恐 竜 ・ 地 質 学 科	
地 域 政 策 学 部	地域イノベーション学科	

3 選 抜 方 法

入学者の選抜は、小論文および面接の成績ならびに出願書類の内容を総合して行います。

(1) 選抜期日・時間割

選 抜 期 日	時 間 割		
	9:20～9:50	9:50～11:20	12:30～18:00
2026年11月21日(土)	受 験 上 の 注意事項説明	小 論 文	面 接

(2) 選抜の内容等

区 分	内 容	時 間
小 論 文	日本語による800字程度の小論文	90分
面 接	複数の面接員による面接 ※面接では、各学部で要求される基礎学力を問う質問を行うことがあります。	—

(3) 試験会場

福井県立大学 永平寺キャンパス 福井県永平寺町松岡兼定島4-1-1

4 配 点

(1) 経済学部

小 論 文	出願書類 [※]	面 接	合 計
100	100	100	300

[※] 出願資格として求める英語の資格・検定試験の評価を含みます。

(2) 生物資源学部

小 論 文	出願書類 [※]	面 接	合 計
100	100	100	300

[※] 出願資格として求める英語の資格・検定試験の評価を含みます。

(3) 海洋生物資源学部

小 論 文	出願書類 [※]	面 接	合 計
50	100	50	200

[※] 出願資格として求める英語の資格・検定試験の評価を含みます。

(4) 看護福祉学部

小 論 文	面接（出願書類を含む。） [※]	合 計
100	150	250

[※] 出願資格として求める英語の資格・検定試験の評価を含みます。

(5) 恐竜学部

小論文	出願書類 [※]	面接	合計
100	100	100	300

[※] 出願資格として求める英語の資格・検定試験の評価を含みます。

(6) 地域政策学部

小論文	出願書類 [※]	面接	合計
100	100	100	300

[※] 出願資格として求める英語の資格・検定試験の評価を含みます。

5 出 願 手 続

(1) 出願期間 2026年10月26日(月)～11月2日(月)(当日消印有効)

(2) 出願方法

出願は、書留速達扱いの郵送または直接持参によってください。直接持参の受付時間は、平日の午前9時から午後5時までとします。土曜日、日曜日および祝日は受け付けません。

(3) 出願先 福井県立大学入学試験本部(入試企画室)

〒910-1195 福井県永平寺町松岡兼定島4-1-1

(4) 出願書類

(注) 外国語で書かれた書類については、大使館・出身学校・公的機関等で翻訳証明を受けた日本語訳を添付してください。また、翻訳元となった書類の原本を提出してください。原本が提出できない場合は、大使館・出身学校・公的機関等で原本証明されたものを提出してください。

出願に必要な書類	作成方法
志願票	所定の様式に、必要事項をもれなく自筆で記入してください。「写真貼付欄」には、縦4cm×横3cmの写真(正面上半身無帽、背景なし、出願前3ヵ月以内に単身で撮影したもの)の裏面に第1志望学科、氏名を記入し、はがれないように全面をのり付けしてください。
写真票	所定の様式に、必要事項をもれなく自筆で記入してください。「写真貼付欄」には、志願票と同じ写真をはがれないように全面をのり付けしてください。
受験票	所定の様式に、必要事項をもれなく自筆で記入してください。
入学検定料	振込期間内に指定する振込先へ振り込んでください。 【入学検定料】 17,000円 【振込期間】 2026年10月19日(月)～11月2日(月) 【振込先】 銀行名: 福井銀行 支店名: 福井医大支店 預金種目: 普通預金 口座番号: 1141718 受取人: 公立大学法人福井県立大学 コウリツダイガクホウジンフクイケンリツダイガク

入 学 検 定 料 (つ づ き)	【注意】 ※振込依頼人の名前は、必ず志願者本人の名前にしてください。 ※<u>振込手数料は振込者の負担になります。</u> ※出願書類が期限内に到着しても、入学検定料の振込が確認できるまでは受付となりません。余裕をもってお振込みください。 ※振込受付証明書や振込明細書、振込完了画面データ等、「依頼人名」「日付」「振込金額」「振込先」が確認できる書類を保管してください。 ※入学検定料を日本国外から送金する場合は、入金の確認に日数がかかります。出願前に入学試験本部（入試企画室）までご連絡ください。 【返還請求について】 納入済みの入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。 ①検定料を振り込んだが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかったまたは出願が受理されなかった）場合 ②検定料を誤って二重に振り込んだ場合 《返還請求の方法》 「検定料振込受付証明書等」を添付の上、検定料返還請求書を下記住所まで郵送してください。期限・請求書様式など詳細は本学ホームページ（https://www.fpu.ac.jp）をご覧ください。 福井県立大学 財務課 〒910-1195 福井県永平寺町松岡兼定島4-1-1 TEL 0776-61-6000
大 学 入 学 資 格 認 定 書	「2 出願資格」の（1）の③に該当する者で事前に資格審査を受け本学の入学資格が認められたものは、交付された「福井県立大学入学資格認定書」を提出してください。
調 査 書	出身学校長が文部科学省所定の様式により作成し、厳封したものを提出してください。 なお、高等専門学校第3学年修了者および文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者の調査書については、文部科学省所定の様式に準じて作成したものを提出してください。 また、外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの、国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、バカロレア資格取得者、文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程を修了した者および高等学校卒業程度認定試験合格者（廃止前の大学資格検定試験合格者を含みます。）については、当該試験等の成績証明書をもって調査書に代えることができます。なお、成績証明书中、免除科目のある者は、当該科目を履修した学校長が作成した成績証明書も併せて提出してください。 ※記録保存期間を過ぎている場合および廃校・被災その他の理由で、調査書が発行されない場合は、成績証明書等の成績を証明する書類、もしくは成績証明書発行不能証明書等、成績を証明できない旨の証明書を提出してください。
履 歴 書	所定の様式に、自筆で記入してください。

英語の資格・検定試験に関する公式な成績証明書	※2024年12月以降に受験した以下のいずれかの英語の資格・検定試験に関する公式な成績証明書を提出してください。
	TOEFL は、「Official(Institutional) Score Report」を Educational Testing Service から選抜期日までに本学へ届くように、送付の手配を出願期間までにしてください。ETS での手続完了後に本学でもオンライン上でスコアの情報を確認することができます。本学の DI-Code は「B759」、Department Code は「00」(Undergraduate) です。 それとともに、ETS から受験者あてに送付された「Test Taker Score Report」のコピー、または「My Home Page」でのスコア確認を印刷したものに、Official (Institutional) Score Report の送付を依頼した日付を記して、提出してください。
	TOEIC は、実施機関から受験者に送付された「Official Score Certificate / Report」(公式認定証：受験者の氏名・生年月日・顔写真が明示されているもの)を提出してください。原本を提出し、コピーは不可。必要に応じて実施機関に証明書の追加発行を依頼してください。
	IELTS は、「成績証明書 (Test Report Form)」を実施機関 (日本国内では日本英語検定協会) から選抜期日までに本学へ届くように、送付の手配を出願期間までにしてください。 それとともに、実施機関から受験者あてに送付された「成績証明書 (Test Report Form)」のコピー、または「オンライン試験結果表示サービス」を印刷したものに、Test Report Form の送付を依頼した日付を記して、提出してください。
	英検は、日本英語検定協会から受験者に送付された「合格証明書」(和文でも英文でも可。1 通だけ切り離し、「合格証書」や「Certification Card」は同封しない)を提出してください。原本を提出し、コピーは不可。必要に応じて実施機関に証明書の追加発行を依頼してください。
受験票返送用封筒	所定の封筒に、受験票返送先の住所、氏名、郵便番号を明記し、410 円分の切手を貼ってください。
出願用封筒	所定の封筒に、「出願区分」欄、「差出人」欄を必ず記入し、郵送の場合には必ず書留速達扱いにしてください。

(5) 第2志望の選択

経済学部においては、出願の際に、第1志望の学科のほか、他の学科を第2志望の学科とすることができます。この場合には、選抜の結果、第2志望の学科の合格者となることがありますので、十分考慮の上、志望する学科を決めてください。

経済学部以外の学部においては、第1志望のみとします。

(6) 障害を有する入学志願者等との事前相談

障害を有する等、受験上および修学上の配慮を必要とする可能性のある入学志願者は、出願の前にあらかじめ福井県立大学入学試験本部(入試企画室)まで連絡し、相談してください。

相談の内容によっては、本学の試験までに対応できず、十分な配慮による受験ができない場合もありますので、なるべく早く相談してください。

- ① 相談の時期 2026年10月16日(金)(当日消印有効)
- ② 相談の方法 相談書(様式は自由で、健康診断書等必要書類を添付したもの)を提出してください。必要な場合は、本学において志願者またはその立場を代弁できる関係者等との面談を行います。

- ③ 連絡先 福井県立大学入学試験本部（入試企画室）
〒910-1195 福井県永平寺町松岡兼定島4-1-1
TEL 0776-68-8297
FAX 0776-61-6012

6 合格発表

(1) 発表期日 2026年12月1日（火） 午前10時

(2) 発表方法

合格者に合格通知書を送付します。

また、合格者の受験番号を本学のホームページに掲載します。ホームページのアドレスは <https://www.fpu.ac.jp> です。ただし、これは参考情報ですので、可否の確認は合格者に送付する合格通知書で行ってください。

なお、電話等による問い合わせには応じません。

(3) 合格しなかった者の一般選抜試験の受験について

選抜の結果、合格しなかった者は、「令和9年度学生募集要項《一般選抜》」に定められた出願手続をとって、前期日程（2027年2月25日実施）および後期日程（同年3月12日実施）の一般選抜試験（教科・科目に係る個別テスト等）を受験することができます。

ただし、本学の指定する大学入学共通テストの教科・科目を受験する必要があります。

7 成績の開示

本学の受験者本人に限って、個人成績を開示します。

希望者は、次により申し込んでください。

(1) 2027年度入学試験成績開示の申込期間

2027年4月23日（金）～2027年5月24日（月）まで

(2) 申込者 受験者本人に限ります（代理人は不可）。

(3) 申込先 福井県立大学入学試験本部（入試企画室）

(4) 申込方法

【窓口での申込】

・本学受験票を持参の上、所定の「入学試験成績開示申込書」により申し込んでください。

【郵便での申込】

・次の1～3を同封して申込期間内に到着するよう郵送してください。

・申込後1月程度にて受験者本人あて書留郵便で送付（受験票も返却）します。

1 所定の「入学試験成績開示申込書」

2 受験票（本人確認のため使用・コピー不可）

3 返信用封筒

※返信用封筒の大きさ：長型3号

※郵便番号、住所、あて名を記載し、簡易書留相当の金額の切手を貼り付けてください。

(5) 開示の内容

個人成績 小論文・面接等ごとの点数および総合点

(6) 開示方法

・閲覧または郵送により開示します。

・郵送による開示は、受験者本人あて書留郵便で送付（受験票も同封し返却）します。

(7) 問い合わせ先・郵送先

福井県立大学入学試験本部（入試企画室）
福井県永平寺町松岡兼定島 4-1-1
TEL 0776-68-8297

8 入 学 手 続

(1) 入学手続期間 2026年12月2日(水)～12月9日(水)(当日消印有効)

(2) 入学手続方法

- ① 入学手続に必要な書類は、合格発表後に通知します。
- ② 書類提出は、**書留速達扱いの郵送**または**直接持参**によってください。直接持参の受付時間は、平日の午前9時から午後5時までとします。土曜日、日曜日および祝日は受け付けません。
- ③ 入学手続を完了した方には、入学許可証を郵送します。

(3) 入学手続先

福井県立大学入試企画室
〒910-1195 福井県永平寺町松岡兼定島 4-1-1
TEL 0776-68-8297

9 注 意 事 項

本要項34ページ「Ⅳ 注意事項」をご覧ください。

10 初年度納付金、その他

本要項39ページ「Ⅴ 初年度納付金、その他」をご覧ください。

Ⅲ 私費外国人留学生特別選抜

1 募 集 人 員

学 部	学 科	入学定員	左のうち私費外国人留学生 特別選抜の募集人員
経 済 学 部	経 済 学 科	80名	各学科 若干名
	経 営 学 科	80名	
生 物 資 源 学 部	生 物 資 源 学 科	50名	
	創 造 農 学 科	30名	
海 洋 生 物 資 源 学 部	海 洋 生 物 資 源 学 科	50名	
	先 端 増 養 殖 科 学 科	30名	
看 護 福 祉 学 部	看 護 学 科	50名	
	社 会 福 祉 学 科	30名	
恐 竜 学 部	恐 竜 ・ 地 質 学 科	30名	
地 域 政 策 学 部	地 域 イ ノ ベーション 学 科	70名	
計		500名	

2 出 願 資 格

外国の国籍を有し、独立行政法人日本学生支援機構が実施する「2026年度日本留学試験（第1回）」を受験した者または「2026年度日本留学試験（第2回）」に出願して受理された者（いずれの試験も出題言語は日本語に限る。）で、次の（1）および（2）のいずれにも該当する者

なお、本学が日本留学試験の成績を利用する科目は、下表のとおりです。（○は必須、△は選択を表します。）

学 部	学 科	日本語	総合科目	数 学	理 科	備 考
経 済 学 部	経 済 学 科	○	△	○(※1)	△(※2)	「日本語、総合科目、数学」または「日本語、数学、理科」のいずれでも可
	経 営 学 科					
生 物 資 源 学 部	生 物 資 源 学 科	○	－	○(※1)	○(※2)	
	創 造 農 学 科					
海 洋 生 物 資 源 学 部	海 洋 生 物 資 源 学 科	○	－	○(※1)	○(※2)	
	先 端 増 養 殖 科 学 科					
看 護 福 祉 学 部	看 護 学 科	○	－	○(※1)	○(※2)	
	社 会 福 祉 学 科		○		－	
恐 竜 学 部	恐 竜 ・ 地 質 学 科	○	－	○(※1)	○(※2)	
地 域 政 策 学 部	地 域 イ ノ ベーション 学 科	○	○	○(※1)	－	

※1 数学……「コース1」、「コース2」のいずれでも可

※2 理科……3科目（「物理」、「化学」、「生物」）から2科目自由選択

(1) 以下の各号のいずれかに該当する者

- ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者もしくは2027年3月修了見込みの者
- ② 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験と認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含みます。）に合格した者で、2027年4月1日現在において満18歳に達している者
- ③ 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者（これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験と認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含みます。）に合格した者を含みます。）で、文部科学大臣が指定する教育施設等における準備教育課程を修了した者
文部科学省ホームページ（<https://www.mext.go.jp/>）より「大学入学資格について」を参照
- ④ スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者
- ⑤ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者
- ⑥ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者
- ⑦ ①～⑥の者と同等の出願資格があると本学において認めた者

(注) 大学入学共通テストを受ける必要はありません。

(2) 下表に定める英語の資格・検定試験のいずれかを2024年12月以降に受験し、公式な成績証明書を提出できる者

学 部	学 科	受験を出願資格とする英語の資格・検定試験
経 済 学 部	経 済 学 科	・ TOEFL (PBT、iBT) ・ TOEIC (Listening & Reading Test) ・ IELTS (アカデミック・モジュール) ・ 英検
	経 営 学 科	
生 物 資 源 学 部	生 物 資 源 学 科	・ TOEFL (PBT、iBT) ・ TOEIC (Listening & Reading Test) ・ IELTS (アカデミック・モジュール) ・ 英検
	創 造 農 学 科	
海洋生物資源学部	海洋生物資源学科	※ TOEFL ITP (団体受験) テスト、TOEIC IP (団体受験) テスト、TOEIC SW テスト、TOEIC Speakingテスト、TOEIC Bridgeテスト、IELTS (団体受験)、IELTS (ジェネラル・トレーニング・モジュール)、英検 Jr.、英検 IBA のスコアは認められません。
	先端増養殖科学科	
看護福祉学部	看 護 学 科	
	社 会 福 祉 学 科	
恐 竜 学 部	恐 竜 ・ 地 質 学 科	
地 域 政 策 学 部	地域イノベーション学科	

3 選 抜 方 法

入学者の選抜は、オンライン面接および日本留学試験の成績ならびに出願書類の内容を総合して行います。

(1) 選抜期日・時間割

①生物資源学部・海洋生物資源学部・恐竜学部

選 抜 期 日	時 間 割
	9:30～18:00
2026年11月21日(土)	オンライン面接

②経済学部・看護福祉学部・地域政策学部

選 抜 期 日	時 間 割
	9:30～18:00
2026年11月22日(日)	オンライン面接

※インターネットの接続不具合等により、予定時間に面接が実施できなかった場合は、時間外の実施になる可能性もあります。

※受験上の注意事項を説明したあと、オンライン面接を開始します。

※個人ごとの面接開始時間は、出願受付後にお知らせします。

(2) 選抜の内容等

区 分	内 容	時 間
オンライン面接	複数の面接員による面接 ※面接では、各学部で要求される基礎学力を問う質問を行います。(口頭試問)	—

(3) 試験会場

オンライン面接につき、試験会場はⅣ注意事項(34ページ)を参考に各自でご準備ください。福井県立大学に集合する必要はありません。

4 配 点

(1) 経済学部

面接(口頭試問、出願書類を含む。)[※]	日本留学試験	合 計
200	200	400

[※] 出願資格として求める英語の資格・検定試験の評価を含みます。英語による口頭試問を含む場合があります。

(2) 生物資源学部

面 接	口頭試問	出願書類[※]	日本留学試験	合 計
150	100	100	150	500

[※] 出願資格として求める英語の資格・検定試験の評価を含みます。

(3) 海洋生物資源学部

面 接	口頭試問	出願書類 [※]	日本留学試験	合 計
100	100	150	150	500

[※] 出願資格として求める英語の資格・検定試験の評価を含みます。

(4) 看護福祉学部

面接（口頭試問、出願書類を含む。）[※]	日本留学試験	合 計
250	200	450

[※] 出願資格として求める英語の資格・検定試験の評価を含みます。

(5) 恐竜学部

面接（口頭試問を含む。）	出願書類 [※]	日本留学試験	合 計
250	100	150	500

[※] 出願資格として求める英語の資格・検定試験の評価を含みます。

(6) 地域政策学部

面 接	出願書類 [※]	日本留学試験	合 計
250	100	150	500

[※] 出願資格として求める英語の資格・検定試験の評価を含みます。

5 出 願 手 続

(1) 出願期間 2026年10月26日（月）～11月2日（月）（当日消印有効）

(2) 出願方法

①国内から出願される場合

書留速達扱いの郵送または直接持参によってください。直接持参の受付時間は、平日の午前9時から午後5時までとします。土曜日、日曜日および祝日は受け付けません。

(注) 必ず学生募集要項を取り寄せ、要項の様式を使用して出願してください。

②海外から出願される場合

本学ホームページに掲載している志願票等の様式をA4サイズ白色コピー用紙に印刷し、必要事項を記入の上、国際スピード郵便（EMS）で下記（3）出願先に郵送してください。

また、10月23日（金）までに必ず本学メールアドレス（nyusi@gfpu.ac.jp）に出願する旨を連絡してください。（日本における土曜日、日曜日および祝日は受け付けません。）

(3) 出 願 先

①国内から出願される場合

福井県立大学入学試験本部（入試企画室）

〒910-1195 福井県永平寺町松岡兼定島4-1-1

②海外から出願される場合

(FUKUI PREFECTURAL UNIVERSITY Student Affairs Department Office for Entrance Examination Planning)

(4-1-1 Kenjojima, Matsuoka, Eihei-ji-Town, Fukui)

(Postal Code 910-1195 JAPAN) (TEL + 81-776-61-6000)

(4) 出願書類

(注) 外国語で書かれた書類については、大使館・出身学校・公的機関等で翻訳証明を受けた日本語訳を添付してください。また、翻訳元となった書類の原本を提出してください。原本が提出できない場合は、大使館・出身学校・公的機関等で原本証明されたものを提出してください。

出願に必要な書類	作成方法
志 願 票 (志願者本人が自分で書いてください)	所定の様式に、必要事項をもれなく記入してください。「写真貼付欄」には、縦4cm×横3cmの写真(正面上半身無帽、背景なし、出願前3ヵ月以内に単身で撮影したもの)の裏面に第1志望学科、氏名を記入し、はがれないように全面をのり付けしてください。
写 真 票 (志願者本人が自分で書いてください)	所定の様式に、必要事項をもれなく記入してください。「写真貼付欄」には、志願票と同じ写真をはがれないように全面をのり付けしてください。
受 験 票 (志願者本人が自分で書いてください)	所定の様式に、必要事項をもれなく記入してください。
入 学 検 定 料	振込期間内に指定する振込先へ振り込んでください。 【入学検定料】 17,000円 【振込期間】 2026年10月19日(月)～11月2日(月) 【振込先】 銀 行 名：福井銀行 支 店 名：福井医大支店 預金種目：普通預金 口座番号：1141718 受 取 人：公立大学法人福井県立大学 コウリツダイガクホウジンフク イ ケンリツダイガク 【注意】 ※振込依頼人の名前は、必ず志願者本人の名前にしてください。 ※振込手数料は振込者の負担になります。 ※出願書類が期限内に到着しても、入学検定料の振込が確認できるまでは受付となりません。余裕をもってお振込みください。 ※振込受付証明書や振込明細書、振込完了画面データ等、「依頼人名」「日付」「振込金額」「振込先」が確認できる書類を保管してください。 ※入学検定料を日本国外から送金する場合は、入金の確認に日数がかかります。出願前に入学試験本部(入試企画室)までご連絡ください。 【返還請求について】 納入済みの入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。 ①検定料を振り込んだが本学に出願しなかった(出願書類等を提出しなかったまたは出願が受理されなかった)場合 ②検定料を誤って二重に振り込んだ場合 《返還請求の方法》 「検定料振込受付証明書等」を添付の上、検定料返還請求書を下記住所まで郵送してください。期限・請求書様式など詳細は本学ホームページ(https://www.fpu.ac.jp)をご覧ください。 福井県立大学 財務課 〒910-1195 福井県永平寺町松岡兼定島4-1-1 TEL 0776-61-6000

最終出身学校の卒業（見込み）証明書および成績証明書	「2 出願資格」の（１）の②に該当する者は、合格証明書および成績証明書、（１）の③に該当する者は、外国において、高等学校に対応する学校の修了証明書（認定試験合格者は合格証明書）および我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程の修了証明書（または修了見込み証明書）および成績証明書、（１）の④に該当する者は、国際バカロレア事務局から授与された国際バカロレア資格証書の写しおよびその最終試験の成績証明書、（１）の⑤に該当する者は、一般的大学入学資格証明書の写し、（１）の⑥に該当する者は、バカロレア資格証書の写しおよびバカロレア資格試験成績証明書を提出してください。外国語で書かれた書類については、大使館・出身学校・公的機関等で翻訳証明を受けた日本語訳を添付してください。また、翻訳元となった書類の原本を提出してください。原本が提出できない場合は、大使館・出身学校・公的機関等で原本証明されたものを提出してください。
履歴書 (志願者本人が自分で書いてください)	所定の様式に、記入してください。
日本留学試験受験票	2026年度日本留学試験の受験票の写しを提出してください。なお、複数回受験している場合は、成績を利用してほしい回の受験票の写しのみ提出してください。
住民票等	日本国内居住の外国人は、市町村長発行の住民票（在留資格が明記されたもの）を提出してください。ただし、住民票コードやマイナンバー（個人番号）の記載は必要ありません。 海外居住者は、パスポート（姓名および国籍が記載されたページ）の写しを提出してください。
電子メールアドレス等届出書	所定の様式に、必要事項をもれなく記入してください。メールアドレスは正確に記入してください。
オンライン面接 誓約書	所定の様式の内容をよく読んで記入してください。
英語の資格・検定試験に関する公式な成績証明書	※2024年12月以降に受験した以下のいずれかの英語の資格・検定試験に関する公式な成績証明書を提出してください。 TOEFL は、「Official (Institutional) Score Report」を Educational Testing Service から選抜期日までに本学へ届くように、送付の手配を出願期間までにしてください。ETS での手続完了後に本学でもオンライン上でスコアの情報を確認することができます。本学の DI-Code は「B759」、Department Code は「00」（Undergraduate）です。 それとともに、ETS から受験者あてに送付された「Test Taker Score Report」のコピー、または「My Home Page」でのスコア確認を印刷したものに、Official(Institutional) Score Report の送付を依頼した日付を記して、提出してください。 TOEIC は、実施機関から受験者に送付された「Official Score Certificate / Report」（公式認定証：受験者の氏名・生年月日・顔写真が明示されているもの）を提出してください。<u>原本を提出し、コピーは不可。</u>必要に応じて実施機関に証明書の追加発行を依頼してください。 IELTS は、「成績証明書（Test Report Form）」を実施機関（日本国内では日本英語検定協会）から選抜期日までに本学へ届くように、送付の手配を出願期間までにしてください。 それとともに、実施機関から受験者あてに送付された「成績証明書（Test Report Form）」のコピー、または「オンライン試験結果表示サービス」を印刷したものに、Test Report Form の送付を依頼した日付を記して、提出してください。

英語の資格・検定試験に関する公式な成績証明書（つづき）	英検は、日本英語検定協会から受験者に送付された「合格証明書」（和文でも英文でも可。1通だけ切り離し、「合格証書」や「Certification Card」は同封しない）を提出してください。原本を提出し、コピーは不可。必要に応じて実施機関に証明書の追加発行を依頼してください。
受験票返送用封筒（国内出願者のみ）	所定の封筒に、受験票返送先の住所、氏名、郵便番号を明記し、410円分の切手を貼ってください。
出願用封筒	所定の封筒に、「出願区分」欄、「差出人」欄を必ず記入し、郵送の場合には必ず 書留速達扱い にしてください。

（５）第２志望の選択

経済学部においては、出願の際に、第１志望の学科のほか、他の学科を第２志望の学科とすることができます。この場合には、選抜の結果、第２志望の学科の合格者となる場合がありますので、十分考慮の上、志望する学科を決めてください。

経済学部以外の学部においては、第１志望のみとします。

（６）障害を有する入学志願者等との事前相談

障害を有する等、受験上および修学上の配慮を必要とする可能性のある入学志願者は、出願の前にあらかじめ福井県立大学入学試験本部（入試企画室）まで連絡し、相談してください。

相談の内容によっては、本学の試験までに対応できず、十分な配慮による受験ができない場合もありますので、なるべく早く相談してください。

- ① 相談の時期 2026年10月16日（金）（当日消印有効）
- ② 相談の方法 相談書（様式は自由で、健康診断書等必要書類を添付したもの）を提出してください。必要な場合は、本学において志願者またはその立場を代弁できる関係者等との面談を行います。
- ③ 連絡先 福井県立大学入学試験本部（入試企画室）
〒910-1195 福井県永平寺町松岡兼定島4-1-1
TEL 0776-68-8297
FAX 0776-61-6012

6 合格発表

（１）発表期日 2027年1月6日（水） 午前10時

（２）発表方法

合格者に合格通知書を送付します。

また、合格者の受験番号を本学のホームページに掲載します。ホームページのアドレスは <https://www.fpu.ac.jp> です。ただし、これは参考情報ですので、可否の確認は合格者に送付する合格通知書で行ってください。

なお、電話等による問い合わせには応じません。

7 成績の開示

本学の受験者本人に限って、個人成績を開示します。

希望者は、次により申し込んでください。

（１）2027年度入学試験成績開示の申込期間

2027年4月23日（金）～2027年5月24日（月）

（２）申込者 受験者本人に限ります（代理人は不可）。

(3) 申込先 福井県立大学入学試験本部（入試企画室）

(4) 申込方法

【窓口での申込】

- ・ 本学受験票を持参の上、所定の「入学試験成績開示申込書」により申し込んでください。

【郵便での申込】

- ・ 次の1～3を同封して申込期間内に到着するよう郵送してください。
- ・ 申込後1月程度にて受験者本人あて書留郵便で送付（受験票も返却）します。
 - 1 所定の「入学試験成績開示申込書」
 - 2 受験票（本人確認のため使用・コピー不可）
 - 3 返信用封筒※返信用封筒の大きさ：長型3号
※郵便番号、住所、あて名を記載し、簡易書留相当の金額の切手を貼り付けてください。

(5) 開示の内容

面接等の点数および総合点

(6) 開示方法

- ・ 閲覧または郵送により開示します。
- ・ 郵送による開示は、受験者本人あて書留郵便で送付（受験票も同封し返却）します。

(7) 問い合わせ先・郵送先

福井県立大学入学試験本部（入試企画室）

福井県永平寺町松岡兼定島4-1-1

TEL 0776-68-8297

8 入 学 手 続

(1) 入学手続期間 2027年 1月7日(木)～ 1月20日(水)(当日消印有効)

(2) 入学手続方法・入学手続先

① 国内から入学手続きされる場合

- ・ 入学手続に必要な書類は、合格発表後に通知します。
- ・ 書類提出は、**書留速達扱いの郵送**または**直接持参**によってください。直接持参の受付時間は、平日の午前9時から午後5時までとします。土曜日、日曜日および祝日は受け付けません。
- ・ 入学手続を完了した方には、入学許可証を郵送します。

入学手続先 福井県立大学入試企画室

〒910-1195 福井県永平寺町松岡兼定島4-1-1

電話 0776-68-8297

② 海外から入学手続きされる場合

- ・ 出願時に届け出ていただいたメールアドレスに入学手続書類のデータを送ります。
- ・ 書類提出の際は、必要書類を印刷し、記入した後、記入した書類をpdfデータで本学メールアドレス（nyusi@g.fpu.ac.jp）に提出してください。また、原本は国際スピード郵便（EMS）で下記入学手続先へ郵送してください。日本における土曜日、日曜日および祝日は受け付けません。
- ・ 入学手続を完了した方には、入学許可証を、入国後に日本国内住所に郵送します。

入学手続先 (FUKUI PREFECTURAL UNIVERSITY Student Affairs Department
Office for Entrance Examination Planning)
(4-1-1 Kenjojima, Matsuoka, Eihei Town, Fukui)
(Postal Code 910-1195 JAPAN) (TEL + 81-776-61-6000)

9 注 意 事 項

本要項34ページ「Ⅳ 注意事項」をご覧ください。

10 初年度納付金、その他

本要項39ページ「Ⅴ 初年度納付金、その他」をご覧ください。

Ⅳ 注 意 事 項

1 受験上の注意事項

(1) 帰国生徒、社会人（小論文、対面での面接）

- ① 試験当日は、受験票を必ず持参してください。
- ② 試験当日は併せて身分証明書(生徒証・学生証・マイナンバーカード・パスポート・運転免許証・在留カード等(氏名および生年月日の記載があり、顔写真付きで、試験日において有効なもの。))を必ず持参してください。不正行為が疑われる場合や受験票を持参し忘れた場合など、本人確認のために掲示を求めることがあります。
- ③ 当日、受験票を忘れた方は、速やかに試験本部で仮受験票の交付を受けてください。
また、**受験票は、入学手続、成績開示の際に必要となりますので、試験後も大切に保管してください。**
- ④ 小論文、面接のいずれか1つでも受けない方は、入学者選抜の対象から除きます。
- ⑤ 受験者は、11月21日（土）午前9時20分までに指定された試験室に入室し、着席してください。面接の際は、当日指定された集合時刻までに、決められた受験者控室に集合し、待機してください。面接開始時刻に不在であった場合は、欠席したものとして取り扱います。
- ⑥ 試験開始後は、30分以内の遅刻に限り受験を認めます。ただし、時間の延長は行いません。
- ⑦ 受験票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、次のとおりです。

- ・ 黒鉛筆（H、F、HBに限る。和歌・格言等が印刷されているものは不可。）、鉛筆キャップ
- ・ シャープペンシル（黒い芯に限る。）
- ・ プラスチック製の消しゴム
- ・ 鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可。）
- ・ 時計（辞書、電卓、端末などの機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものは不可。）
- ・ 眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋または箱から中身だけ取り出したもの）

これ以外の所持品を使用または置いている場合には、解答を一時中断させて、試験終了まで預かることがあります。（試験時間中、病気・負傷や障害等により机の上に置けるもの以外のものを使用したい場合は、事前相談が必要です。）

なお、座布団、クッション、タオル、ひざ掛け、手袋（多汗症用を含む。）の使用を希望する場合は、試験開始前に監督者に申し出て許可を得てから使用してください。

- ⑧ 試験時間中に、次のものを使用してはいけません。

- ・ 定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具
- ・ 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類

これらの補助具や電子機器類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていたりすると不正行為となることがあります。

なお、通信機能のある電子機器類（携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末等）はかばんの中にしまっていないければ、電源が切られていても、使用しているものとし、不正行為となります。（衣類のポケット等に

入っていた場合も、使用しているものとし、不正行為となります。

また、イヤホンは耳に装着していれば使用しているものとして不正行為となります。（試験時間中、病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は、事前相談が必要です。）

- ⑨ 耳栓は、監督者の指示が聞こえない場合がありますので、使用できません。
- ⑩ 英文字や地図等がプリントされている服等は着用しないでください。
- ⑪ 試験時間中に使用してはいけない電子機器類は、試験室に入る前にアラームの設定を解除し、電源を切ってかばん等に入れておいてください。なお、このことについては、試験室内においても、再度確認を行います。また、携帯電話等を時計の代わりに使用することはできません。試験時間中、待機時間中および面接試験中に携帯電話を操作した場合、「不正行為」とみなされ、「不合格」となる可能性がありますので注意してください。
- ⑫ 試験の実施に影響を与えるおそれがある場合や不正行為が疑われる場合に、監督者等が所持品を確認することがあります。
- ⑬ 試験時間中、監督者が試験室内の巡視を行います。その際、監督者が顔を上げるよう指示することや、マスク等を一時的に外すよう指示することなどがあります。
また、不正行為に見えるような行為は、監督者がカードを用いて注意する場合があります。
- ⑭ 試験会場において他の受験者の迷惑となる行為や危険な行為はしないでください。
- ⑮ 試験会場では昼食の販売を行いませんので、必要に応じて弁当を持参してください。また、試験会場においては、ゴミは各自で持ち帰ってください。
- ⑯ 事前に試験会場の下見ができますが、建物内には立ち入らないでください。
- ⑰ インフルエンザ、ノロウイルス、新型コロナウイルス等の感染症に罹患し、治癒していない場合は、他の受験者や監督者等に感染するおそれがあるため受験できません。
- ⑱ 試験当日は、試験室の換気のため窓の開放を行う時間帯がありますので、上着など温かい服装を持参してください。
- ⑲ その他必要が生じた場合には、受験票返送の際に併せて通知します。

（２） 私費外国人留学生（オンラインでの面接）

受験学部・学科を問わず、すべての受験者に対しオンライン面接を実施します。下記の項目を確認の上、受験してください。

- ① 出願時の注意
 - ・ 出願時に電子メールアドレス等届出書と誓約書の提出が必要になります。十分に内容を確認して記入してください。
 - ・ 電子メールアドレス等届出書に記入するメールアドレスは、本学からのメール（@g.fpu.ac.jp）が迷惑メールに分類されないようにドメイン設定してください。
- ② オンライン設備の注意
 - ・ 各自でビデオ通話が可能な機器（カメラ・マイク付きパソコン、タブレット、スマートフォン等）を準備してください。準備が難しい場合は、在籍する日本語学校に相談してください。
 - ・ 使用ソフトは Zoom のみです。当日利用するデバイスへの Zoom ソフト（無料）のインストールをお願いします。
 - ・ 良好で安定的なインターネット環境を整えてください。（自宅でインターネット環境を整備するのが難しい場合は、在籍する学校に相談してください。）
- ③ 受験前の注意
 - ・ オンライン面接試験日の前に、接続状況等を確認する事前テストを実施します。事前テストの日時は、出願受付後、順次メールにて通知のうえ調整します。
 - ・ 事前テストでは、実際に Zoom を使用して、インターネット回線の接続状態や映像、音声の確認等を行います。必ず受験時と同じ環境で事前テストを受けてください。確認に要する時間は 10 分程度となります。

- ・Zoomのアカウントは「受験番号＋氏名」に設定してください。試験当日まで設定は変更しないでください。

④ 受験上の注意

- ・自宅などの試験開始から終了まで確実に一人である静かな場所を準備してください。
- ・出願受付後に発送する受験票は、オンライン面接の際、画面上に提示して頂きますので、大切に保管してください。また、入学手続の際にも必要となりますので、試験後も大切に保管してください。
- ・試験当日は併せて身分証明書（マイナンバーカード・パスポート・運転免許証・在留カード等（氏名および生年月日の記載があり、顔写真付きで、試験日において有効なもの。））を必ず持参してください。不正行為が疑われる場合や受験票を持参し忘れた場合など、本人確認のために掲示を求めることがあります。
- ・受験者は、指定された集合時刻までに、決められたZoomに入室し、待機してください。面接開始時刻に不在であった場合は、欠席したものとして取り扱います。
- ・オンライン面接の接続のために使用しない通信機能のある電子機器類（携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末等）は電源を切ってかばんの中にしまってください。衣類のポケット等に入れていた場合も、使用しているものとし、不正行為となります。
オンライン面接中、病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は、事前相談が必要です。
また、携帯電話等を時計の代わりに使用することはできません。面接試験中に携帯電話等を操作した場合、「不正行為」とみなされ、「不合格」となる可能性がありますので注意してください。

⑤ その他

- ・オンライン面接の具体的な実施方法等は、出願受付後、志願者に連絡します。

2 不正行為

- ① 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以降の受験はできなくなります。また、この入学者選抜試験におけるすべての成績を無効とします。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

- ア 大学に提出した受験票等の内容を改ざんすること。
- イ 志願票、受験票、写真票、解答用紙へ故意に虚偽の記入（本人以外の写真を使用、本人以外の氏名・受験番号を記入するなど。）をすること。
- ウ カンニング（試験に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
- エ 他の受験者に答えを教えたり、カンニングの手助けをすること。
- オ 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
- カ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- キ 解答開始の指示の前に、問題冊子を開いたり、解答を始めること。
- ク 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
- ケ 試験時間中に、電子機器類（携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレイヤー等）を使用すること。

※通信機能のある電子機器類（携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末等）は、かばんの中にしまっていないければ、電源が切られていても、使用しているものとし、不正行為となります（衣類のポケット等に入れていた場合も、使用しているものとし、不正行為となります。）。

コ 解答終了の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

- ② ①以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、①と同様です。

ア 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や電子機器類（電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等）、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばんにしまわず、身に付けていたり、手に持っていること。

※通信機能のある電子機器類（携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末等）は、かばんの中にしまっていないければ、電源が切られていても、使用しているものとし、不正行為となります（衣類のポケット等に入れていた場合も、使用しているものとし、不正行為となります。）。

イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。

ウ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。

エ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。

オ 試験場において監督者、面接官等の指示に従わないこと。

カ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

3 出願手続上の注意事項

- ① 必要な書類がすべてそろっていない場合には受付できませんので、出願の際に十分確認してください。
また、郵送の場合は、出願期間最終日までの消印があるものに限り有効とします。
- ② 入学許可の後であっても、出願資格や出願書類の記載と相違する事実が発見された場合には、入学を取り消すことがあります。
- ③ 出願受付後には、出願事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合には、福井県立大学入学試験本部（入試企画室）まで連絡してください。
- ④ 11月10日（火）までに受験票が届かない場合は、福井県立大学入学試験本部（入試企画室）までお問い合わせください。
- ⑤ 一度受付をした出願書類は、理由のいかんを問わず返却しません。

入試過去問題の利用について

- ① 本学は、「入試過去問題活用宣言」に参加しており、本学のアドミッション・ポリシーを実現するために必要と認める範囲で、「入試過去問題活用宣言」参加大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。
- ② 入試過去問題を使用して出題する場合は、一部を改変することもあります。また、必ず使用するとは限りません。
- ③ 入試過去問題を使用して出題した場合は、入試終了後に受験者に分かる形で使用問題を公表します。
- ④ 「入試過去問題活用宣言」の詳細および参加大学の一覧については、
「<http://www.nyushikakomon.jp>」にて公表しています。

4 入学手続上の注意事項

- ① 入学手続期間内に手続を完了しなかった方については、入学を辞退したものとして取り扱います。
- ② 必要な書類がすべてそろっていない場合には受付できませんので、書類の提出の際に十分確認してください。また、入学手続期間を過ぎて到着したものは受け付けません。郵送の場合には所要日数を十分に考慮して発送してください。
- ③ 一度受付をした入学手続書類および入学料は、理由のいかんを問わず返却しません。
- ④ 諸事情により入学手続後に入学を辞退する場合は、2027年3月27日（土）（必着）までに入学辞退届を入学試験本部（入試企画室）へ提出してください。
特定記録や書留等、本学への到着を志願者本人が確認できる方法で送付ください。

◇不測の事態が発生した場合の諸連絡◇

不測の事態により、試験日程や選抜内容など募集要項の内容に変更が生じた場合は、本学ホームページ等でお知らせしますので、出願前や受験前は特にご注意ください。

- ・ ホームページアドレス <https://www.fpu.ac.jp>
- ・ 連 絡 窓 口 福井県立大学入学試験本部（入試企画室）
 TEL 0776-68-8297

V

初年度納付金、その他

1 入 学 料 等

(1) 入 学 料

入学手続の際に、下記の金額の入学料を納付する必要があります。

- ① 福井県内の者 188,000円
- ② 上記以外の者 282,000円

(注) 福井県内の者とは、以下のいずれかに該当する者のことをいいます。

- ア 2026年4月1日以前から引き続き福井県内に住所を有する者
- イ 2026年4月1日以前から引き続き福井県内に1親等の親族が住所を有する者
- ウ 理事長がこれらに準ずると認める者

(2) 授 業 料

- ① 金 額 年額535,800円(2026年度実績。なお、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料が適用されます。)
- ② 納付方法 前期(納付期限:5月12日)、後期(11月12日)の2回に分けて徴収します。

(3) その他の納付金 (入学時に納めていただきますが、入学許可とは関係ありません。)

- ① 後援会費 50,000円(4年間)
- ② 学友会費※ 10,000円(4年間)
- ③ 同窓会費 10,000円(終身)
- ④ 学生保険

学部・学科		金額(4年間)
経 済 学 部		4,660円
生 物 資 源 学 部		4,660円
海 洋 生 物 資 源 学 部		4,660円
看護福祉学部	看護学科	5,370円
	社会福祉学科	4,660円
恐 竜 学 部		4,660円
地 域 政 策 学 部		4,660円

※金額は2026年度の実績。金額が変更される場合もあります。

※ 学友会とは、全学生を会員とした学生による自治組織です。学生相互の親睦を推進、学生生活の向上および地域社会への協力、貢献すること等を目的とした活動を行っています。

2 そ の 他

(1) 入学料・授業料の免除制度

国が行う高等教育の修学支援新制度を利用できます。

また、経済的な事情によって入学料・授業料の納付が困難であり、かつ、学業成績が優秀であると認められる外国人留学生の場合は、入学料・授業料の一部免除の制度があります。

(2) 長期履修制度（社会人特別選抜のみ）

社会人特別選抜により入学した学生が、職業を有している等の事情により、修業年限の4年で修了することが困難と予想される場合、申請により修業年限を5年、6年、7年または8年とすることを認める長期履修制度があります。

この制度が適用された場合、授業料は4年分を5年、6年、7年または8年で分割納入することになります。

(3) 奨 学 金

◆奨学金の種類

奨学金には、日本学生支援機構と、その他地方公共団体や公益法人・営利法人等が行うものがあります。

奨学金には、貸与（返還義務のあるもの）と給付（返還義務のないもの）があり、多くの奨学金は貸与奨学金です。卒業後には、返還義務が生じますので、注意してください。

◆日本学生支援機構の奨学金（留学生は対象外）

日本学生支援機構では、成績（学業）の優れた学生で、経済的理由により修学が困難な者に対し、奨学金の給付、貸与を行っています。

<種類>

・ 給付奨学金

入学料・授業料免除と併せて給付される、返還義務のない奨学金です。ただし、学業成績の不振等がある場合は、返還を求められる場合もあります。（大学院は対象外です。）

・ 第一種奨学金

返還義務のある無利子の奨学金です。給付奨学金と併給する場合は、月額に制限が設けられます。

・ 第二種奨学金

返還義務のある有利子の奨学金です。給付、第一種奨学金との併給も可能です。

(4) 麻疹（はしか）、風疹（三日はしか）の流行予防の手続き

学内での麻疹（はしか）、風疹（三日はしか）の感染症の流行を防止するため、入学手続きの際にこの予防接種の記録を提出していただきます。2回以上の接種記録がない場合などは、予防接種を受けていただくことがあります。

(5) 下宿・アパート

アパート等のあっせんは行っておりません。

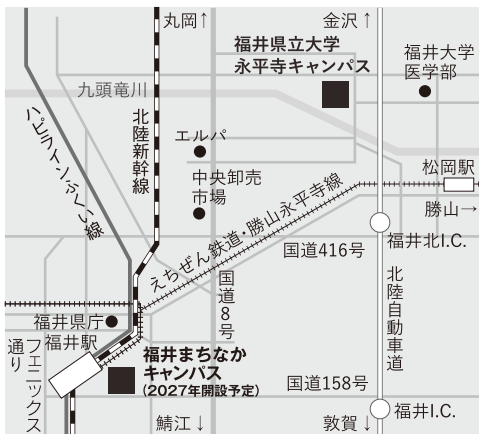
(6) 受験の際の宿泊

宿泊施設等のあっせんは行っておりません。

Ⅵ 個人情報取扱い

福井県立大学では、個人情報について以下のとおり取扱いますので、予めご了承ください。

- 1 個人情報は、「個人情報の保護に関する法律（平成 15 年法律第 57 号）」および「公立大学法人 福井県立大学個人情報保護取扱規程」に基づき、適正に処理します。法令等の規定に基づくときなどの例外を除き、原則として、第三者に提供することはありません。
- 2 本学への出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所およびその他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続、④入学者選抜方法等における調査、研究、分析、⑤およびこれらに付随する業務を行うために利用します。
- 3 入学者選抜に用いた試験成績の個人情報は、入学者選抜方法等における調査、研究、分析を行うために利用します。
- 4 各種業務での利用においては、一部の業務を外部委託することがあります。この場合、受託者には個人情報の保護が義務づけられます。
- 5 入学者についてのみ、本学への出願に当たってお知らせいただいた個人情報および入試成績は入学後の、①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。



【永平寺キャンパス】

〒910-1195 福井県永平寺町松岡兼定島 4-1-1

TEL：0776-61-6000(代)

FAX：0776-61-6012

〈バス〉 京福バス福井駅西口バスターミナル
大学病院線「県立大学」下車（所要時間約 40 分）

〈乗用車〉 福井駅より約 20 分
北陸自動車道 福井北 IC より約 10 分

【福井まちなかキャンパス】

〒910-0858 福井県福井市手寄 1-4-1

AOSSA（アオッサ）内

〈電車〉 福井駅東口より徒歩 1 分

〈乗用車〉 北陸自動車道 福井 IC より約 10 分



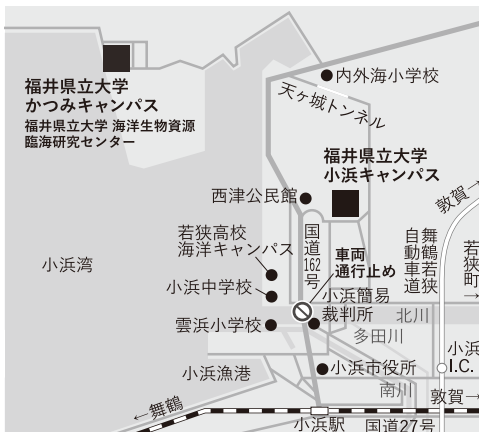
【あわらキャンパス】

〒910-4103 福井県あわら市二面 88-1

TEL：0776-77-1443(代)

FAX：0776-77-1448

〈乗用車〉 芦原温泉駅より約 15 分
北陸自動車道 金津 IC より約 15 分



【小浜キャンパス】

〒917-0003 福井県小浜市学園町 1-1

TEL：0770-52-6300(代)

FAX：0770-52-6003

〈コミュニティバス〉 小浜駅よりあいあいバスで約 10 分、
「西津公民館前」下車徒歩 15 分

〈乗用車〉 小浜駅より約 10 分
舞鶴若狭自動車道 小浜 IC より約 5 分

【かつみキャンパス】

〒917-0116 福井県小浜市堅海 49-8-2

TEL：0770-52-7305(代)

FAX：0770-52-7306

〈コミュニティバス〉 小浜駅よりあいあいバスで約 20 分、「堅海」下車
〈乗用車〉 小浜駅より約 20 分
舞鶴若狭自動車道 小浜 IC より約 20 分



【勝山キャンパス】

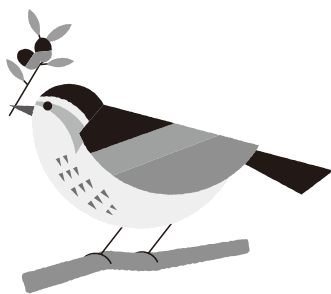
〒911-0025 福井県勝山市村岡町五本寺 17-15

TEL：0779-64-4850(代)

FAX：0779-64-4851

〈電車・バス〉 えちぜん鉄道 勝山駅よりバスで約 15 分

〈乗用車〉 福井駅より約 50 分
中部縦貫自動車道 勝山 IC より約 10 分



問い合わせ・事前相談先

福井県立大学 入学試験本部（入試企画室）

〒910-1195

福井県永平寺町松岡兼定島4-1-1

Tel 0776-68-8297

Fax 0776-61-6012

Eメール nyusi@g.fpu.ac.jp

電話受付時間：午前9時～午後5時

（土曜・日曜・祝日、年末年始を除く）